

休校延長に伴う取り組み

～いつもと違うを有効に～

休校の延長が決まりました。3月からを考えると3ヶ月にも及ぶ長い長い期間になってしまいました。こんな状況ですが、皆さんは、今までどう過ごし、さらにこの先どう過ごしていこうと考えているでしょうか。「いつもと違う」今の状況をどう生かすかは、自分次第です。「いつもと違う」けれども、すべての人に時間は平等に与えられています。こんな時だからこそ、「いつもと違うを有効に」活用してみたら良いと思います。

学校で行っている先生方の「いつもと違う取り組み」「こういうときだからこそできる取り組み」をいくつか紹介します。生徒の皆さんも自分なりに自分の生活を考えてみて下さい。

【生活面】

*職員室清掃・トイレ清掃

自分たちの使うところは自分たちで清掃しようということで、昨年度まで生徒のみなさんに職員室清掃を手伝ってもらっていましたが、今年は先生方だけで清掃しています。また、職員トイレも当番制で先生方が磨いています。

*「おはよう」の発行

生徒の皆さんが先輩達からずっと引き継いでいる「おはよう」も今日で3486号となりました。1年間に200号としても17年以上続けてきた大切なものです。こんな状況下でも続けています。学校再開後は、また生徒の皆さんにバトンタッチします。

*チョコボラ

朝、部活動で行ってくれている掃き掃除などのボランティアですが、今は先生方が掃き掃除や草取りなど時間を見つけてやっています。ロータリーのパンジーも色鮮やかに咲いています。



*健康維持・増進、お弁当づくり

生徒の皆さんと同じように先生方も健康維持に努めています。早起きして徒歩で通勤してみたり、グラウンドを走ってみたり、竹刀を振ってみたり・・・それぞれの方法で生活リズムを保っています。また、昼食のお弁当づくりも増えました。料理の腕があがったという先生も!?

【学習面】(先生方にとっては仕事の一部ですが)

*教科の勉強

学校再開後、生徒の皆さんにとって少しでもわかりやすい授業を行うためにいつも以上に勉強しています。また、学習支援動画の作成を市内の先生方と分担して作成・撮影中です。北部中でも動画を作っているのを楽しみにしてください。

*苦手なPCチャレンジ

生徒の皆さんに情報発信するためにHPは欠かせません。しかし、先生方全員がHPの作成に長けているわけではありません。わかる先生に「どうやったらいいですか」と聞き合いながら頑張っています。日常ではなかなかできない事にもチャレンジです。

いつもと違う状況ですが、継続が大切なこと、新たなことにチャレンジすること、そして何より健康で日常に戻るようにすることが大切です。「自分の生活を自分で築く」(生徒会スローガン)です。